No.8

大学シミュレーション教育施設を活用した訪問看護師等教育研修事業

1.3 億円程度
（事業期間 2年間）

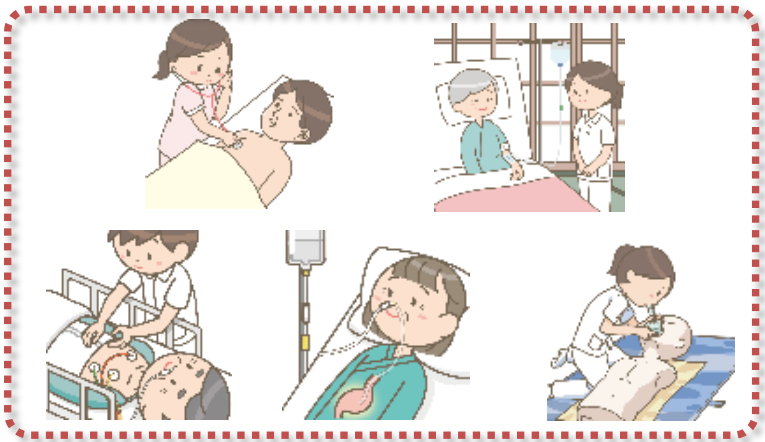
大学施設を活用し、在宅療養を支える訪問看護師を対象に、自己学習を容易にするe-learningと様々な症状や兆候を再現する「人体型シミュレータ」を用いた教育研修を実施し、地域医療の質の向上と充実を図る。

訪問看護師の教育

訪問看護
教育ステーション

e-learning ＋ モデル人形で実践＜技術＞

知識の
整理



医療機関退院後の
自宅療養生活支援

継続的e-learning

自信を持って訪問

あんしん・いきいき

No.8

事業内容の詳細

○ 大学施設の共同利用：訪問看護師教育施設として活用

- 大学施設を活用して人体型シミュレータを用いた研修を実施することで、今まで同行訪問でしか体験できなかった「日常的な医学管理」や「看取り・ターミナルケア」等に必要な医療的判断力を研修により身に着けることを可能にする。

○ 小規模事業所の人材育成支援の一環として、e-learning教材を貸し出し学習支援を行う

- 集合研修で習得した知識・技術の定着のため、疾患・治療・ケアを繰り返し学習できるe-learningシステムの貸し出しを行う。「繰り返し学習」が知識・技術を定着させる。

事業実施による効果

在宅療養を支える訪問看護人材の支援・育成により、都内の訪問看護の質が全体的に向上し、地域医療の充実につながる。